

わかたけ通信

令和8年7月22日(水)

校長

地域連携係

学校支援コーディネーター

3年生 たまねぎ収穫へ

地域でたまねぎを育てている農家の浅野さんの畑を訪問し、たまねぎの収穫やキャベツの出荷の仕方について学びました。子どもたちは、浅野さんが育てられた立派なタマネギを見て、「大きい!」「すごい!」と驚きの声をあげていました。実際に収穫を体験することで、普段食べている野菜がどのように育てられ、出荷されているのかを身近に感じることができました。

収穫したたまねぎは、各家庭に持ち帰りました。ご家庭では、カレーライスをはじめ、さまざまな料理にしておいしく味わったという声も聞かれました。自分たちで収穫した野菜を食べる経験は、子どもたちにとって大変貴重なものになったことと思います。

今回の活動は、社会科「農家の仕事」の学習の導入として行いました。収穫体験をきっかけに、子どもたちは農家の方の仕事や、野菜が食卓に届くまでの流れについて関心を高め、その後の学習へとつなげていくことができました。

浅野さんには、2年生の生活科の学習でもお世話になっており、子どもたちにとって身近な地域の方として親しみを感じながら学ぶことができました。そのため、「農家の仕事」という学習内容とも結びつけやすかったようです。

お忙しい中、子供たちの学びのために貴重な体験の場を用意してくださった浅野さんに、心より感謝申し上げます。



6年生 郷土資料館を守る取り組み

学校にある民俗資料室では、月に1度、6年生が掃除を行っています。民俗資料室には、地域の昔のくらしや学校の歩みを伝える大切な資料が数多く保管されているため、「せたがや百景」にも選定されています。子どもたちは、資料を大切に扱いながら掃除をすることで、地域の歴史や文化を守っていくことの大切さを学んでいます。

また、この民俗資料室は、「せたがや文化創造塾」と「千歳民族資料保存会」の皆様に支えられています。長年、資料の整理や保存、展示環境の維持など、資料室をこれからも大切に残していくための活動を続けてくださっています。「せたがや文化創造塾」の方が、月に一度、来校し子どもたちと一緒に資料室の整理や確認などにも丁寧に取り組んでいただいています。「せたがや文化創造塾」の方のご尽力によって、子供たちは身近な場所にある民族資料室が、地域の方々の思いと支えによって守られていると感ずることが出来ます。

これからも、民俗資料室での活動を通して、子供たちが地域の歴史や文化に親しみ、ふるさとを大切に思う気持ちを育んでいけるようにしていきます。1学期も昨年度と変わらず、地域の皆様に支えられながら、子どもたちはたくさんのことを学ぶことができました。今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

前回のわかたけ通信では、わかたけ応援団の募集を呼びかけさせていただきました。これまでに新しく10名の方に登録をしていただきました。ありがとうございました。2学期もよろしくお願いいたします。

